

ご紹介いたします。先日 2/21 の埼玉産業保健総合支援センターの「第 15 回メンタルヘルス・フォーラム ～医と法が紡ぐメンタルヘルス問題への処方箋～」に参加させて頂きました。有難うございます。

「『職場のうつ』に対する医師・産業医の意見申述」井原 裕相談員（メンタルヘルス担当）・「メンタルヘルスと『生きた法』三柴 丈典氏（近畿大学法学部教授）の講演等でした。とても心に残ったというか、主治医の先生が発行する診断書の内容について、退職時に休業を要する内容、復職時に復職可能である内容、1-2 行の文言が記載されていることに、その根拠は？等、いろいろなお話を伺いまして、そうだなあ～、それを当然のように受け取っている状況であることに改めて意識を変えたいと思いました。

当日の令和 6 年 2 月 21 日の研修の内容を録画の紹介があります。快諾を得ましたので皆様にご紹介いたします。どうぞよろしかったら、下記フォームからお申込みください。

[https://www.saitamas.johas.go.jp/seminar/sem01\\_form\\_kouki.html](https://www.saitamas.johas.go.jp/seminar/sem01_form_kouki.html) (菅野)

## 目次

- 1 富山 被災地の産業医や保健師 災害後の健康指導を学ぶセミナー
- 2 第 2 4 回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会（資料）
- 3 関連情報

### 1 富山 被災地の産業医や保健師 災害後の健康指導を学ぶセミナー

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240222/k10014367201000.html>

能登半島地震で被災した人たちの健康管理を担う企業の産業医や保健師を対象に、災害後の健康指導などについて学ぶセミナーが 21 日夜、富山県氷見市で開かれました。

氷見市の「ふれあいスポーツセンター」で開かれたセミナーには、今回の地震で大きな被害を受けた富山県西部の企業の産業医や保健師などが集まり、29 年前の阪神・淡路大震災で被災者の健康相談にあたった「富山産業保健総合支援センター」所長の鏡森定信医師が講演しました。

鏡森医師は、阪神・淡路大震災は能登半島地震と同じく 1 月の発生で、被災者はストレスに加えて寒さも影響して、心臓や血管それに脳の病気のリスクを高め、亡くなる人が相次いだと述べました。

そのうえで、暖房を適切に使うよう指導したり、毛布など保温のための資材を備蓄したりしておくことが大切だとアドバイスしました。

また、生活環境が変わると、うつや睡眠障害になるおそれがあるほか、体を動かす機会が減ると身体機能が衰えるため、生活指導や心のケアを長期的に続ける必要があると指摘しました。

参加した産業医は「被災者の心身に起きる変化がよく分かりました。企業での取り組みに生かしていきたい」と話していました。

鏡森医師は「被災地の産業医や保健師は経営者や労働者と連携して職場の健康を守ってもらいたい」と話していました。

## 2 第24回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会（資料）

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E\\_XLqrjFgeiwjSBY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E_XLqrjFgeiwjSBY)

- [議事次第 \[PDF形式：53KB\]](#)
- [資料1 がん診療連携拠点病院等の指定について \[PDF形式：2.1MB\]](#)
- [【2月22日修正】資料2 新規指定・指定更新・指定類型変更の医療機関一覧（案） \[PDF形式：266KB\]](#)
- [参考資料1 「がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会」開催要綱 \[PDF形式：185KB\]](#)
- [参考資料2 がん診療連携拠点病院等の整備について（令和4年8月1日付け健発0801第16号厚生労働省健康局長通知） \[PDF形式：448KB\]](#)
- [参考資料3 都道府県の推薦について \[PDF形式：11.3MB\]](#)

### ○がん診療連携拠点病院等の種類（令和4年8月 整備指針）

- 地域がん診療連携拠点病院
- 都道府県がん診療連携拠点病院
- 国立がん研究センター
- 特定領域がん診療連携拠点病院
- 地域がん診療病院
- 拠点病院等（特例型）※地域がん診療連携拠点病院以外は新設

※全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、がん医療の均てん化を目指して、各都道府県において整備する。都道府県知事が推薦する医療機関を指定の検討会の意見を踏まえて厚生労働大臣が拠点病院等として指定する。

## 3 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

### (1) 労働基準関係法制研究会 第2回

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E\\_XK3ZfSGQfW\\_gSBY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E_XK3ZfSGQfW_gSBY)

- [議事次第 \[PDF形式：44KB\]](#)
- [資料1 労働時間制度について \[PDF形式：3.9MB\]](#)

### (2) 第3回「労働基準関係法制研究会」を開催します

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3VJvv\\_TnV9nLv8BY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3VJvv_TnV9nLv8BY)

### (3) 人事労務マガジン 特集第218号

2024年4月1日以降、ハローワークの求人票に詳しい記載が必要となります

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=s1Vpnt\\_zvX9HDtghY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=s1Vpnt_zvX9HDtghY)

[人事労務マガジン特集第218号 \[644KB\]](#)

<https://www.mhlw.go.jp/content/12600000/001214577.pdf>

(4) 第3回 被用者保険の適用拡大に関する効果的な広報のためのアドバイザー会議・資料  
<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3VKXRdSmYdWfoMBY>

- 議事次第 [議事次第 \(PDF: 43KB\)](#)
- 資料1 [資料 1-1 \(PDF: 117KB\)](#)  
[資料 1-2 \(PDF: 90KB\)](#)
- 資料2 [資料 2 \(PDF: 1MB\)](#)
- 資料3 [資料 3 \(PDF: 4MB\)](#)

(5) 「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」を公表します  
[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=0zUN76Z-Bn\\_SmglBY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=0zUN76Z-Bn_SmglBY)

<一部抜粋>

本ガイドラインは、アルコール健康障害の発生を防止するため、国民一人ひとりがアルコールに関連する問題への関心と理解を深め、自らの予防に必要な注意を払って不適切な飲酒を減らすために活用されることを目的としています。

○ (別添) [健康に配慮した飲酒に関するガイドライン \[266KB\]](#)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001211974.pdf>

(6) 厚生労働省を装った不審なメールにご注意ください。  
<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3VLKjhFAWgwRqEBY>

(7) 「女性の健康週間」特設 Web コンテンツ 元体操選手 田中理恵さん・能瀬さやか先生と一緒に考える ～自分のからだと向き合う、適正体重の大切さ～  
[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E\\_XNL2a-xr8SWsiBY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E_XNL2a-xr8SWsiBY)

スマート・ライフ・プロジェクトの取組の一環として今年の「女性の健康週間」の実施にあわせ、特設 Web コンテンツ 元体操選手 田中理恵さん・能瀬さやか先生と一緒に考える～自分のカラダと向き合う、適正体重の大切さ～を、2月16日(金)より公開いたしました。

◇ 保健指導リソースガイド | メールマガジン から

(1) 「HPV 検査単独法」子宮頸がん検診に4月から導入  
厚生労働省「がん検診検討会」より  
<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/i1a8l2w3l4s6/cntht64v/>

対象年齢は30歳以上で、5年に1回の受診間隔とし、特に推奨する者を30歳以上60歳以下に設定。一定の要件が整った段階で開始可能となる。

(2) ストレスを管理できると健康と幸福が改善 仕事のパフォーマンスも向上  
ストレスに負けないための2つの対処法  
<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/qzk0osptx1fn/cntht64v/>

(3) 毎年3月は子ども予防接種週間 「5種混合ワクチン」は今年4月から定期接種へ  
<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/e3hwars1imik/cntht64v/>

2023年4月から、これまで接種開始年齢が生後3か月からだった4種混合ワクチン（ジフテリア・破傷風・百日せき・ポリオ）が、生後2か月からに変更となった。生後6か月未満で感染すると重症化しやすい「百日せき」を予防するため、接種開始時期を1か月前倒しにした形だ。さらに、この4種混合ワクチンにヒブワクチンを加えた5種混合ワクチンが4月から定期接種となる予定。

(4) 第97回 日本産業衛生学会「変革期における 産業保健のアイデンティティーサイエンスに基づく組織と労働者の両立支援－」 5/22（水） <日本産業衛生学会>  
<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/kpo5ahvzfuad/cntht64v/>

(5) 令和6年度 産業保健看護職交流研究会（全5回） \*ご快諾有難うございました。  
5/27（月） <埼玉産業保健総合支援センター>  
<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/j8jngzz1st28/cntht64v/>

※ 対面での5回実施シリーズ、一層の交流が深まりますね。（菅野）

◇ J I L P T から

(1) 労働政策フォーラムのご案内（オンライン開催）  
「キャリア形成に寄与する学び直し・リカレント教育」

<第1部：研究報告> ※オンデマンド配信（3月16日土曜～19日火曜）  
「A Iと共に働くための学び直しとは？」

「産業人材ニーズと大学教育内容の関係の見える化の試み」

<第2部：事例紹介・パネル討論> ※ライブ配信（3/19火）13時50分～16時15分）  
・職業訓練の実践の取組（高齢・障害・求職者雇用支援機構）  
・リカレント教育の実践の取組（東京理科大学、愛媛大学）

コーディネーター 堀有喜衣 JILPT 統括研究員

[https://www.jil.go.jp/event/ro\\_forum/20240319/index.html?mm=1941](https://www.jil.go.jp/event/ro_forum/20240319/index.html?mm=1941)

(2)国際セミナー（オンライン開催） 申込受付中！

「労働者協同組合法の活用による地域経済の活性化や地域課題の解決に向けて  
～欧州のコーポラティブ制度や事例を踏まえて～」

●日時：3月12日火曜 18時00分～20時00分

経済開発協力機構（OECD）の協力を得て、国際的な実務家・専門家から、協同組合についての歴史の長い欧州における労働者協同組合の位置づけや活動の実態について報告をいただきます。

[https://www.jil.go.jp/foreign/event/ko\\_work/20240312gaiyou.html?mm=1941](https://www.jil.go.jp/foreign/event/ko_work/20240312gaiyou.html?mm=1941)

(3) 「時間帯に着目したワーク・ライフ・バランス—家族生活と健康—」

<第1部：研究報告> ※オンデマンド配信（3月2日土曜～6日水曜）

「時間帯の視点からみた労働者の生活と健康、子どもへの影響」

「就労世代の生活時間の貧困」

「生活時間と健康の確保に関わる働き方」

<第2部：パネル討論> ※ライブ配信（3月6日水曜 14時20分～16時30分）

大石亜希子 千葉大学大学院教授

中野円佳 東京大学 男女共同参画室 特任助教

桂山奈緒子 認定NPO 法人フローレンス マネージャー

高見具広 JILPT 主任研究員

濱口桂一郎 JILPT 研究所長

[https://www.jil.go.jp/event/ro\\_forum/20240306/index.html?mm=1941](https://www.jil.go.jp/event/ro_forum/20240306/index.html?mm=1941)

◇ ◆【From\_M】から 情報提供ありがとうございます。

◆【令和6年3月18日開催】ゼロから分かる！がんになった従業員の治療と仕事の両立支援セミナー（企業向け）を開催します

[https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo\\_hoken/gan\\_portal/event/kouenkai/ryouritusiennseminar.html](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/gan_portal/event/kouenkai/ryouritusiennseminar.html)

○ がんになった従業員の 治療と仕事の両立支援セミナー(企業向け)

[https://www.tohoren.or.jp/meguro/wp-content/uploads/2024/02/2024\\_09.pdf](https://www.tohoren.or.jp/meguro/wp-content/uploads/2024/02/2024_09.pdf)

開催日時 令和6年3月18日（月曜日） 午後2時から午後4時30分まで

会 場 オンライン開催

対象者 都内企業の経営者、人事労務担当及び産業医等の産業保健スタッフ

（上記以外の方も御参加可能です）

◆◀資料・動画▶治療と就労の両立支援

がんになった従業員の治療と仕事の両立支援セミナー（企業向け）

令和5年3月オンラインセミナー

[https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo\\_hoken/gan\\_portal/soudan/ryouritsu/semina-r5/r5-onnrainn.html](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/gan_portal/soudan/ryouritsu/semina-r5/r5-onnrainn.html)

※アーカイブ動画のご視聴の際には、「がんになった従業員の治療と仕事の両立支援サポートブック（令和4年11月）」を参照しながらご覧いただきますと、より理解を深めていただくことができます。

◆【令和6年3月23日開催】第12回日本大学医学部附属板橋病院・帝京大学医学部附属病院 地域がん診療連携拠点病院 合同市民公開フォーラム

[https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo\\_hoken/gan\\_portal/event/kouenkai/goudouforum.html](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/gan_portal/event/kouenkai/goudouforum.html)

◆【令和6年3月13日開催】がん研有明病院サポートプログラム

「病気や治療と付き合いながら働くこと」

[https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo\\_hoken/gan\\_portal/event/kouenkai/gan\\_nkennsupportprogram.html](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/gan_portal/event/kouenkai/gan_nkennsupportprogram.html)

◆【令和6年3月9日開催】第1回 東京都がん・生殖医療連携ネットワークセミナー  
ー届けよう、がん・生殖の希望をー

[https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo\\_hoken/gan\\_portal/event/kouenkai/seisyokunetwork.html](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/gan_portal/event/kouenkai/seisyokunetwork.html)

◆【令和6年3月2日開催】令和5年度 厚生労働省アピアランス支援モデル事業

講演会「医療従事者のためのアピアランスケアセミナー ～患者さんと社会をつなぐ～」

[https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo\\_hoken/gan\\_portal/event/kouenkai/appearance.html](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/gan_portal/event/kouenkai/appearance.html)

◆なぜ、日本人のがん罹患率は上昇傾向にあるのか。一方で死亡率は下がっているという最新データからわかること

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d0c03c4442cf4d16acc945853cecd17e505c4af9>

「がん」はどのようにして治すのか 科学に基づく「最良の治療」を知る #1 がんの死亡率は低下しているという。がんの罹患率は年々上昇しているが、医療の進歩に伴ってその死亡率は低下している。自分や親しい人ががんになったとき、必要なのは自身の正しい知識である。新しい治療法や、最新のデータを知っておくことは主治医と話をするうえで必ず役にたつのだ。知っておきたい知識がまとめられた『「がん」はどのようにして治すのか 科学に基づく「最良の治療」を知る（講談社ブルーバックス）』より、日本人のがんに関する最新のデータを一部抜粋して紹介する。

◆治療と仕事の両立支援コラムを公開しました。

<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/column/>

○中小企業管理職向け Part.2 「いざ社員から治療と仕事の両立について相談を受けたら」

[https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/column/column\\_09.html](https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/column/column_09.html)

○中小企業管理職向け Part.1 「なぜ社員の治療と仕事の両立が必要なのか」

[https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/column/column\\_08.html](https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/column/column_08.html)

キャリアコンサルティング総研株式会社代表取締役

国家資格キャリアコンサルタント 両立支援コーディネーター 佐野 真子 氏

○情けは人のためならず

[https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/column/column\\_07.html](https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/column/column_07.html)

社会保険労務士法人 中村・中辻事務所 代表社員

株式会社インフィニティ 取締役 中辻 めぐみ 氏

◆取組事例を追加しました。

<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/case/>

◆◀動画▶京都労働局雇用環境・均等室 職場のハラスメントは許しません！

<https://www.youtube.com/watch?v=EDb6TlxBcws>

◆健康経営の重要な役割を担う「産業看護職の活用」をテーマに無料オンラインセミナーを2月28日(水)開催。

経営者・人事労務担当者に向けて実際の活用事例を交えながらポイントを解説

～看護師コミュニティ運営で実績豊富なエス・エム・エスが企業の健康経営における課題解決を支援～ 株式会社エス・エム・エス

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000322.000013298.html>

◆人事担当者必見！「現役産業医が解説 | 社員のメンタル不調を予防する心理的安全性の高め方」 無料オンラインセミナーをメディカルリソースが開催

約20社の嘱託産業医を務める平野井 啓一先生による無料オンラインセミナー

株式会社メディカルリソース

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000010.000127443.html>

◆量、質、時間を見直す～糖尿病でも楽しく食事（京都医療センター 坂根直樹室長）～

<https://medical.jiji.com/topics/3255>

糖尿病治療は食事療法と運動を基本とし、必要に応じて薬物療法が用いられる。食事療法は厳密なカロリー計算や糖質制限など「食べたい物が食べられない」といったイメージが強いが、糖尿病があってもなくても、食の基本はバランスの良い健康的な食事だ。

京都医療センター（京都市伏見区）予防医学研究室の坂根直樹室長は「大事なのは糖尿病の状態を把握し、減量や血糖改善など治療目的に応じた食事を長く続けることです」と話す。 ～まずは1週間～ ～1皿盛りで適量把握～

◆約30年ぶり「肥満症新薬」きょうから販売開始

ダイエット・美容目的での利用は“NG”

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a44b7b411d69f360acf8155c82d29ca70d204d8c>

およそ30年ぶりとなる「肥満症」の患者への新薬がきょうから販売されます。

厚生労働省は、ダイエットや美容目的で使用しないよう専門医の指導に基づく処方を行っています。きょうから販売が始まるのは、デンマークの製薬会社「ノボノルディスクファーマ」の肥満症の新薬「ウゴービ」です。ウゴービは週に1回、腹などに注射で投与するもので、食欲を抑制することなどから体重を減らす効果が期待されています。

肥満症の薬としては、およそ30年ぶりに厚労省から承認され、保険適用されました。

ただ、ウゴービと同じ成分の糖尿病の薬が不適切にダイエットや美容目的で使用されていることから、厚労省はウゴービについても適正な使用を呼びかけています。

ウゴービの対象は「肥満症」と診断され、高血圧や脂質異常症、2型糖尿病のいずれかの持病があるなどの条件のほか、肥満度を示すBMIが一定以上の人に限られていて、厚労省は専門医の指導に基づく処方を求めています。

◆世渡りナビ[腎臓病・透析に関わるすべての人の幸せのための じんラボ]

<https://www.jinlab.jp/yowatari/index.html>

「働く」ということは、「生活するために経済的不安を解消する目的であること」はもちろん挙げられますが、それと共に「生きがい、生きるモチベーション・喜びを得るため」という、自尊心や独立心を養うことにもなるとても大切な意味合いを持っていると思います。しかしながら、腎臓を患い、特に透析導入になると、仕事と透析の両立がさまざまな事情で難しくなり、「働きたい」という気持ちがあってもそれが出来ずに悩まれている方が多くいらっしゃいます。透析患者にとって「就労」はとても大きな問題になっています。

◆「カスハラ」防止条例を東京都が制定へ…全国初、年内提出目指す

<https://news.yahoo.co.jp/articles/db84f05a73b6e81d5626f3f95e757b0d5b70d17e>

東京都は、顧客が企業の従業員に理不尽な要求や悪質なクレームを突きつける「カスタマーハラスメント（カスハラ）」の防止条例を制定する方針を固めた

小野田 富貴子（両立支援担当）

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤 （メンタルヘルス担当）

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）

yukikan28@gmail.com